

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年7月24日（水）
- 2 確認箇所
F1タンクエリア（図1）
- 3 確認項目
5・6号機建屋滞留水処理設備の状況

4 確認結果の概要

東日本大震災以降、5・6号機のサブドレン設備が停止したことにより、5・6号機建屋地下階に地下水が流入している。サブドレン設備の復旧工事^{*}が完了し、令和4年3月28日から、建屋周囲の地下水汲み上げを開始しているものの、5・6号機建屋地下階への地下水の流入は継続している。

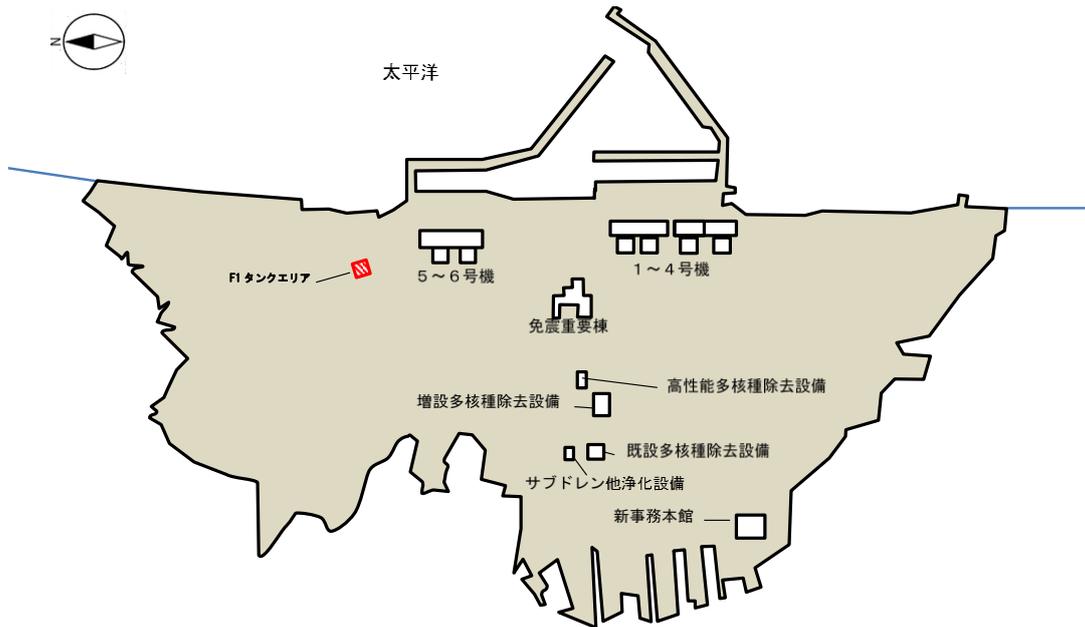
5・6号機建屋地下階に溜まっている地下水（以下「滞留水」という。）は、F1タンクエリアに移送され、浄化処理された後、構内に散水されている。（前回確認：[令和6年4月8日](#)）

本日は、5・6号機建屋滞留水処理設備のうち、滞留水を浄化処理する設備（以下「浄化ユニット」）の状況を確認した。（前回確認：[令和2年7月13日](#)）

- ・ 浄化ユニットは4系列（A～D系）あり、それぞれがジャバラハウス内に設置されていた。（写真1）
- ・ 浄化ユニットの構成機器である移送ポンプ、吸着塔等は、万が一の漏えいに備え、漏えいパン（金属製の受け皿）内に設置されていた。（写真2）
- ・ 漏えいパン内に漏えい検知器が2箇所設置されていた。（写真3）
- ・ 確認した範囲では、設備からの水漏れ等の異常は認められなかった。

※5・6号機サブドレン設備復旧工事

東日本大震災以降稼働を停止していた5・6号機建屋周辺のサブドレン設備（地下水くみ上げ設備）を復旧するための工事。サブドレン設備の復旧により地下水位を低下させ、建屋に流入する地下水の量を抑制できる。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
浄化ユニット外観①



(写真1-2)
浄化ユニット外観②



(写真1-3)

ジャバラハウス内

※吸着塔に充填されている吸着材で放射性物質を除去する



(写真2)

漏えいパン内に設置された吸着塔



(写真3)

漏えい検知器

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。